



猛暑日の秋葉原電気街

Contents

- 02 大人のさんぽ道
千代田区 秋葉原
- 04 印刷入門 いろはにほへと
第五回「特色」について
- 05 [漫画] ソウゲン社!!
- 06 [連載] 社内報ハンドブック
第五回 原稿整理と校正に関する
重要ポイント
- 08 飯田橋に来たらこれ食べよ
創言社 激推し BOOK
編集後記

千代田区 秋葉原



- A: 秋葉原のオアシス、和泉公園
- B: 外国人観光客に大盛況のガチャポン会館
- C: 猛暑日の秋葉原電気街
- D: 電気好きの集まるラジオセンター
- E: アメコミ専門店「BLISTER comics」
- F: ゲーム「ドラゴンクエスト」をテーマにしたローソン神田三丁目店
- G: アクティブAKIBAのバッティングセンターとゴルフ練習場
- H: ゲーム「アイドルマスター・ミリオンライブ!」のラッピングが施された駅ビル、アトレ秋葉原

電子部品の専門店街となりました。幼い頃、アマチュア無線好きの父と訪れた際、狭い空間にぎつしりと並ぶマニアックなお店の数々に、まるで異世界の路地に迷い込んだような感覚になったことを思い出しました。他にも、430台のガチャポンを設置しているお店やアメコミショップなど、秋葉原には様々なジャンルのマニアを満足させてくれる専門店が揃っています。

駅前ビル最上階には、広々としたバッティングセンターとゴルフ練習場があるので、オタクの聖地、秋葉原で、あえて爽やかにアクティブな汗を流すのもまた一興です。

なんと暑い夏なのでしよう。気温38℃、照りつける日差しに肌がジリジリと焼かれているのを感じます。

JR秋葉原駅の電気街口の改札を出ると、駅ビルやコンビニはキャラクターでラッピングされ、各国のコスプレ集団が練り歩く中、笑顔でビラ配りをするメイドさんたち…秋葉原独特の熱気でムンムンです。

まずは高架下のラジオセンターへ。戦後、電気無線技術者達がここでラジオ部品を売り始めたのが始まりで、現在は、電子機器や





100円ショップでも買える、 熱中症対策グッズ

100円ショップなら、以下を全部買っても1,000円未満。
オシャレなデザインのものも増えているので、ぜひ
チェックしてみてください。

飲料

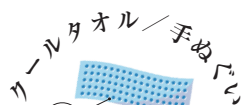


何と言ってもまず
は水分補給！塩分
や糖分を含んだも
のを選び、発汗で
失われた塩分とエ
ネルギーを補いま
しょう。

冷却スプレー



ハンカチなどにス
プレーして首もと
に当てれば、キン
と極寒、リフレッ
シュ！



クールタオルは吸
水性抜群、濡ら
して首筋や手首に
巻くことで、効
率的に全身を冷
やしてくれます。
昔ながらの手ぬ
ぐいは、洗って
もすぐに乾く
ので衛生的。

保冷剤／氷のう



保冷剤は、お馴染
みの四角いもの
から、動物や食
べ物のかたち
まで、かわいら
しいものがあ
る。氷のうは、
急な発熱や、
ねんごなどの
処置にも使え
るので、常備
しておくとし
やすい。

うちわ／扇子



様々な柄があ
って迷ってしまう
ほど。108円
とは思えないク
オリティのもの
もあるので、お
気に入りを探し
てみては。

ぼうし

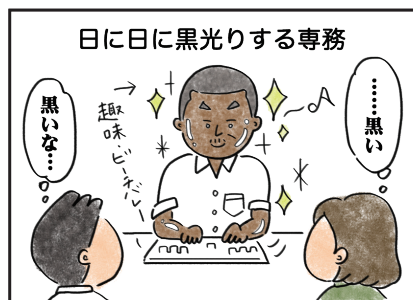
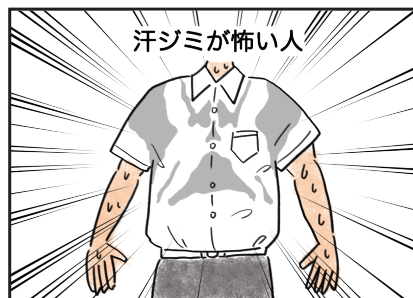


キャップやハ
ット、麦わら
帽子など、様
々なデザイン
のものがある
ので、外出時
は必ずかぶり
、直射日光
をよけましょ
う。

漫画



猛暑日の人々



いろはにほへと

編集や印刷業界には、特殊な用語や符丁がたくさんあって、部外者にはチンプンカンプン。このコーナーでは、そんなあなたの「？」をわかりやすく解説します。

第五回

「特色」について

前回で説明したように、一般的なカラー印刷は、基本となる4色（CMYK＝シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の組み合わせで色を表現します。これら基本色をもとに製版プロセスが行われることから、CMYKはプロセスカラーと呼ばれます。

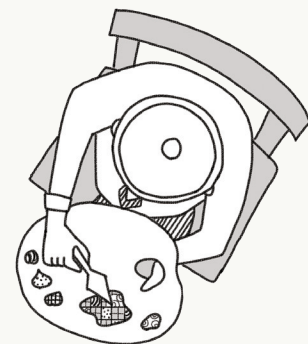
プロラスカラーとは異なり、「特色インキ」と呼ばれる、特別に調合されたインキを使う印刷もあります。「特色」は、プロセスカラーでは表現しきれない色を表現するために調合された単色インキです。金や銀、蛍光色はその代表ですが、それ以外に何千種類もの「特色」があります。インキメーカーにはDIC（旧大日本インキ工業株式会社）、Pantone（アメリカ企業）、TOYO（東洋インキ株式会社）があり、国内で最もよく使用されているのはDICです。

これらのメーカーは「特色」の番号ごとにインキを製造していますが、印刷所でそれらすべてを保有・保管することは事実上不可能です。そのため、メーカーが指定した配合表（レシピのようなもの）に基づき、特色専用のインキを練ってつくるのが一般的です。

「特色」は、色にスペシャル感を出して見る人の目を惹きつけたい場合や、豪華さを演出したい場合に用いられることが多く、企業あるいは商品のロゴタイプやマークなどによく採用されています。ただし、「特色」を使うと5色印刷（一般のカラー印刷は4色印刷）になって印刷代が高くなるため、特色を指定する場合は、同時に、その色に近いプロセスカラーも指定することで4色印刷も可、とする場合が多いようです。

また、印刷代は安くしたいが色が単調になることを避けたい場合は、特色とブラック（黒）を使った2色印刷にすることもあります。

なお、特色の見本帳（カラーチップ）は各メーカーから販売されており、誰でも取り寄せ可能です。



第五回 原稿整理と校正に関する重要ポイント

社内報担当を任命され、お困りではありませんか？
企画・取材・撮影・原稿作成・レイアウト・校正、それぞれのポイントを連載でご紹介します。



他人が書いた原稿を整理する

自ら取材をして原稿を書くのではなく、他の人物から送付された原稿を掲載用に整えることを原稿整理といいます。

ここでは、原稿整理と校正に関する重要ポイントをさらに詳しく解説します。

【原稿整理のポイント】

- ① 企画通りの内容になっているか。
- ② 文体、用字、用語が統一されているか。

- ③ 内容に曖昧な点、疑問点はないか。
- ④ 数字、年月日、場所、氏名などに間違いがないか。
- ⑤ 適当な改行があるか。
- ⑥ 各センテンスが長過ぎないか。
- ⑦ 他人を傷つけること、不適切な表現などが書かれていないか。

1. かなづかい、送りがな

注意点は「ち・じ」、「づ・ず」の使い分け。その他も基本的なことなので、不明な点はすぐに辞書で調べましょう。入力ミスによる単純な変換ミスも多いので、この点にも十分配慮して校正しましょう。

2. 文体・数字等の表記

- ① 常体
「だ」体 「である」体
- ② 敬体
「です」体 「ます」体
- ③ 話し言葉「～しようじゃないか」
- ④ 書き言葉「～してみようではないか」

特に多いのが「です・ます体」と「だ・である体」が混在している原稿です。どちらかに統一してください。

社内報では「です・ます体」に統一する場面が多くなっています。数字や数詞(数字を含んだ言葉)もしっかりと統一する必要があります。これは、どれが正しく、どれが間違いということはありません。要は誌面全体で統一されているかが重要です。

地名、敬称についても統一した基準を設け、それに従って表記しましょう。

3. 地名表記

- (例) 「群馬県高崎市」
「群馬・高崎市」
「高崎市(群馬県)」など

4. 敬称表記

基本的には「さん」。
(例) 15歳以下の男子を「くん」、女子を「さん」、5歳以下の幼児を「ちゃん」など、基準を決めておくとういでしょう。

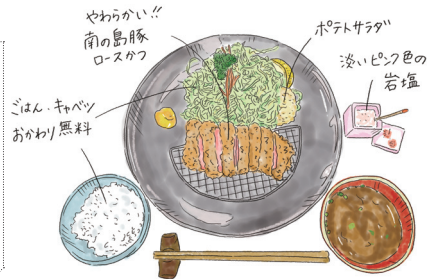
※役職名は氏名の上に入れるのか下に入れるのか、社外の人には「さん」か「氏」なども決めておきましょう。

◆いかがでしたでしょうか？以上の点に着目して、なるべく多くの人に興味深く読んでもらえる社内報を目指しましょう。

あげぎのコースかつ定食

うだる暑さの中、飯田橋西口から神楽坂を上ること約5分、「とんかつ あげぎ」には、開店前だというのに、すでに7名が並んでいました。こちらのとんかつは、高級ラードを使用した低温の油でじっくり揚げるため、提供までに時間がかかるそうです。そこで、オープン前から店員さんが順番にオーダーを聞いて回り、厨房では一足先に調理が開始されます。11時半の開店の際に振り返ると、行列は20名になっていました。うわさ通りの人気店、早めに並んでおいて良かった…。

細長い店内の一番奥のテーブル席に座り、30分ほど待たせましょうか。お待ちかねの「コースかつ定食」がやってきました！ 一口ほおぼって驚くのは、その極上の柔らかさとサラッとした脂の甘み。熟成させた宮崎県産の「南の島豚」のお肉は、豊かな旨味と溢れ出る肉汁が特長です。卓上には自家製ソースもありますが、おすすめは岩塩いただくこと。ジュワッと広がる肉そのものの旨味を、噛むごとに味わうことができます。



風が強く吹いている (新潮社)

三浦しをん著



正月と言えば「箱根駅伝」。正式名称は「東京箱根間往復大学駅伝」。元旦のお酒が残ったまま少し寝坊をしてテレビをつけると、颯爽と走る若者たちが画面いっぱいに映る。展開が掴めないままボーッと見ていたのに、いつの間にかタスキを繋ぐ熱き戦いに引き込まれてしまう。フラフラと足が止まりそうな選手にテレビの前から声援を送り、兄弟選手の熱きライバル関係に心打たれる。先導の白バイ隊員紹介タイムや沿道のコスプレ応援団の姿に頬が緩み、山登りでほぼ毎年誕生する神に拍手を送る。そして無慈悲な繰り上げスタートに、泣く。

「風が強く吹いている」は、この箱根駅伝をテーマにした物語。大学寮に住む個性的なメンツを寄せ集めた素人チームが、走ることを通して、人生という長いマラソンに全力で突き進んでいく青春小説である。読後は熱く爽やかな気持ちで満たされ、今すぐ靴ひもを結び直して、風を感じて走り出したくなってしまいます。なお、気鋭の日本画家山口晃氏が手掛けた、印象深いカバー装画と挿画にも注目だ。

◎編集後記◎

毎日本当に暑いですね…。ふと思いついてイヤホンでクリスマスソングを聴いてみたところ、全身が「今は冬！」と錯覚したのか、スッと涼しくなったような気がしました。不思議です。でもやっぱり暑い。ああ、クリスマスが恋しい…。

(スギザキスナオ)